



摘み取り収穫の場合は、残したわき芽が伸びて、また収穫ができる。わき芽が伸びたら下葉を1~2枚残し、ハサミで切り取る。

草丈15cmほどに成長したら、抜きとて収穫するか、下から3~5節のところで摘み取る。



寒さには強いですが、強い凍みや霜にあたると枯れてしまうので、ビニールでトンネルを作つてやるとしばらく収穫することができます。

草丈が15~20cmになつたら下葉を4枚程度残して上を切り取つて収穫します。その後残した葉のわきから次々と芽が伸びてくるので、葉を1~2枚残して収穫しましよう。わき芽を収穫したら追肥をしておきます。

寒さには強いですが、強い凍みや霜にあたると枯れてしまうので、ビニールでトンネルを作つてやるとしばらく収穫することができます。

## 収穫

## 栄養

## 料理

ホントに生で食べられるの!?とよく言われますが、シunjギクが苦手な方こそお試しください。楽でおいしくて夢中で食べちゃいます。

### 「シunjギクのベーコンサラダ」

- ① シunjギクの葉を摘む。柔らかい葉先の部分がおすすめ。
- ② ベーコンを弱火でじっくり炒めカリカリにする。ベーコン自身の油で炒めるのがコツ。カリカリになつたら油を足し、ベーコンの香りを油に移すようにサッと炒める。
- ③ ①に②をジュッつとかけ、塩を振りレモンをしぶって出来上がり。



## ●オススメ資材●

### 不織布の 「ピカイチα」(1.5m×20m) 508円(税込)

サイズは1.5m×10mから選べる便利な不織布です。  
寒い季節の保温・霜除けはもちろん、暑い時期に種まき、定植した畑の乾燥も防いでくれる優れもの!防鳥・防虫効果も期待できます。

○お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までお気軽にどうぞ。



# ほうさくClub!<sup>くらぶ</sup>

第  
194回  
今月は



## 「シunjギクに挑戦」

★これがシunjギクのスケジュールだよ。 Calendar

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
種まき → 収穫											

●施肥基準  
(1mあたり一例)  
■苦土石灰150g ■堆肥1kg ■BBN552号50g  
■BB追肥N30号15g×数回

⚠ 文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。



味も食べ方も和風なイメージのシunjギクですが、原産は地中海沿岸です。しかし食用にしているのは東アジア地域で、原産地では観賞用になっています。日本に入ったのは室町時代うしく、江戸時代には栽培がされていたようです。

菊は秋咲くものが多いなか、シunjギクは春に咲くので「春菊」という名がついています。関西では「菊菜(キクナ)」ともいわれています。

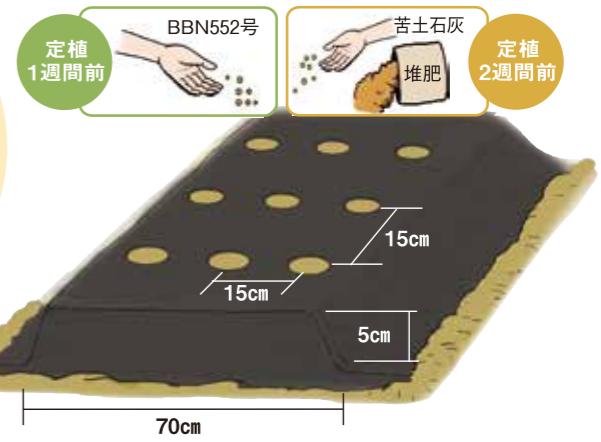
葉の幅が広くて切れ込みが浅く、肉厚でやわらかく香りが弱い大葉種と、葉が細かく切れ込みが深く香りが強い中葉種があります。小葉種もあるのですがほとんど流通していません。主流は中葉種ですが、中国地方以西では大葉種が多く栽培されています。

種まきの2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間に化成肥料をまいてよく耕しておきます。うねは幅70cm、高さ5cm程度に作ります。

種まきは株間15cm、条間15cmでまくので、玉ねぎマルチを使うと便利です。マルチを張る前にしつかりうねを湿らせておきましょう。穴に6粒程度ずつまき、種が隠れる程度に薄く土をかけて手で押さえます。乾燥予防のため不織布をべたがけてたっぷり水やりをします。不織布は発

度に作ります。

本葉が出始めたら最初の間引きをして3株にします。本葉が6枚くらいになつたら1~2株にして、追肥します。乾燥に弱いので土が乾いたら水やりも忘れないでください。



芽したらすぐにまし、防虫ネットでアシネルを作ります。

## 畑の準備・種まき

## 間引き・追肥